



今月の一枚

今年咲いた白蓮華 (6月26日、順慶寺本堂前にて、岡本孝行氏寄贈)

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2023年(令和5年)

7月号

VOL.357

◆◆ 外連味のない蓮たち ◆◆

毎年、6月終わりにになると娑婆世界の汚れを他所に、境内の蓮華鉢に蓮の花が咲き誇る。このところ、蓮も立ちも高くなって見栄えがよく立派になった。その裏側には、冬場の泥おこしや根切りなど有志の惜しみない尽力がある。今年から総代OBの助力も得て更に大がかりになった。

◇ 縁なき衆生は度し難し ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、

「美しい中に、あざやかな色はあっても、
香りのないものがあるように、
そのように、良く語られた言葉も、
実践しないものたちには、果報がない」
(第五十一偈)

からの出典です。

今月のエピソードは、釈尊の時代、マガダ国と肩を並べて大国であった、コーサラ国の王・^{パセナ}パセナデイ王(漢名・波斯匿王)の妃の逸話から出たものです。

コーサラ国という強大な国を治めていた、パセナデイ王は、人格的にも優れており、また釈尊に深く帰依していました。パセナデイ王には、二人の妃があり、一人は、マツリカーといいい、もう一人は、ヴァーサバといいました。マツリカーは、正妻として迎えられていましたが、身分がそれほど高くなかったため、釈尊の生まれた一族として誉れ高い、釈迦族にお願い願って、妃として迎えたのがヴァーサバ

今月の釈尊の言葉

すばらし、教えも
実践されなければ
実を結ばない

◆ダンマパダ(法句経) 第五十一偈より

コーサラ国の二人の妃に法を説くが、一人は喜び、一人は無関心だったの聞いた釈尊のお言葉です。



若院のテーマカット NO.50



でした。

ある時、釈尊に深く帰依する、パセナデイ王は、大切にしていた二人の妃に釈尊の教えを聞かせようと釈尊に願い出しました。釈尊は、快く受け入れ、いつも釈尊に随行して教えをよく聞いていた弟子、アーナンダを名代として向かわせ、教えを伝えさせました。

アーナンダは、釈尊の教えを懇切丁寧に、二人の妃に伝えました。ところが、マツリカーは、熱心に法を聞き、身に受けていきましたが、一方のヴァーサバは、聞いたそぶりを見せるだけで、全く熱心ではありませんでした。

同じように教えを伝えたつもりだったアーナンダは、二人の違いにシヨックを受け、釈尊に相談しました。すると、釈尊は、

「私によって語られた法は、うやうやしく聞かないもの、学ばないものには、ちょうど色をそなえてはいるが、香りのない花のように、実りのあるものにはなりません。」

と、アーナンダに伝えました。形ばかりを整えるヴァーサバには、仏の法が伝わらず、真の意味で実りのある生活を得るのは難しいのだと伝えました。

◆ 非常の言葉は耳に入らない ◆

私たちの日常でも、大切なことだと教えられても、それを大事なことと感じて実施できるか、ということなかなか難しいことが多いものです。

①【パセナデー王】

サンスクリット読みでは、プラセナジットと読む。紀元前五世紀ころの古代インドに栄えたコーサラ国の王。もう一つの大国、マガダ国のビンビサラ王の元に、妹のデーヴィ(韋提希)を嫁がせた。妃には、マツリカーやヴァーサバを迎えたが、やがてヴァーサバの息子・ヴィドーダハ(毘瑠璃王)によって追放され、命を落とした。

②【マツリカー】

パセナデー王の妃。仏教に深く帰依し

将棋や囲碁の世界では、定石というものがあります。長らくの研究によって、ここではこうするものと形が定まったものを言いますが、初心者には形を覚えるのが難しいです。上級者になっても、定石通りに進めるのがいやだということがあります。ですから、師匠に入門した弟子達はここではこうするものと、師匠から厳しく定石を躰けられるそうです。しかし、これが最終的には遠回りせず上達する近道だとされています。

「非常の言葉は常人の耳に入らず」
〔浄土論註〕
自分の思いや欲に突き動かされる時、また、常識ではこうなると思いついて入るとき、他の言葉は耳に入りません。しかし、こうした思いが本道の道に進むことを妨げて、実り多き人生から遠ざけます。

【ヴァーサバ】

パセナデー王の妃。パセナデー王が釈迦族から妃を迎えようとしたため、釈迦族の家老が下女に産ませたヴァーサバを娶らせた。その後、その事実が、息子、ヴィドーダハ(毘瑠璃)に知られ、ヴィドーダハは、パセナデー王を追放、釈迦族を滅亡させ、自ら王位についた。



お盆が7月に行われる地域がある地域が、お盆の期間は、8月13日〜16日を中心に行われています。順慶寺にお参り来られる方も、この期間に来られる方が多いです。ただ、東京や神奈川、石川、静岡などの一部では、7月13日〜16日で行われているようですし、沖縄などではもう少し違う日程で行われているようです。そう言えば、大河ドラマ「どう

する家康」で有名になった三方ヶ原の戦いで、犠牲になった多くの方々を弔うため、お盆の時期(7月15日ごろ)に遠州では、「遠州大念仏」という念仏踊りが行われるようになったそうです。その後、7月15日に新盆の家々を念仏踊りをして回る風習になりました。では、7月と8月のお盆があるのは、どうしてでしょう。お盆の由来は、お釈迦様のお弟子の目連が雨安居の最終日に盆供養(7月15日)をしたことに由来します。

お寺とともに しっぺ返し
梅雨のこの時期、真夏の太陽を避けようと、剪定作業に精を出しています。
境内や座敷の坪庭などは、皆さんにお手伝いをいただき、見えるような庭木の姿になりました。すると、ついつい欲が出て、あちこち伸びた枝を苦にして剪定を張り切ってしまいます。
ある日、この木は虫が騒ぐから、「ちょっとだけ...」と思い、ハシゴに登って、調子よく枝を切っていると、突然、足下に「チカーン!」と激痛が走りました。見てみると、5〜6匹の蜂がズボンと靴下の間のすきま部分にブンブン攻撃しています。この時ばかりは、一目散にハシゴを降り、ホースの水をかけ、家の人のところに駆け込み助けを求めました。
それから一週間ほどは、足の腫れがひかず、泣くような思いで、気軽に剪定をしたことを猛省しました。「自然ナメんなよ!」と叱られた出来事でした。



《第三十九回 まずやってみるの大切さ》
蓮如上人御一代記聞書という書物には「幼少なる者には、まず、物をよめと、仰せられ候う。」とあります。初学者はつべこべ考えずに聖教を読んでみなさい、と勧めるわけです。これは經典等に限らず、英

勢だと思いました。

気候変動に伴う大雨対策

境内の雨水対策進む

4月からの護学会予算案成立に続き、スロープ整備などの改修工事が着々と完了しましたが、6月の集中豪雨の際、境内等に大きな水たまりができ、建物に影響が出ていることが判明しました。その後、追加工事として、緊急に雨水対策の工事を、刈谷市の井戸君工業に委託しました。

内容は、①山門前の水たまり対策、②境内の雨水枡への排水対策、③境内の一部にコンクリートの参道をつける対策などです。

境内の雨水対策



山門前の雨水工事

刈谷市 仏教文化講演会
第一部《講演会》
コロナ禍後の生き方を考える
HavingからBeingへ
牧野篤氏
第二部《講演者とパネルトーク》
テーマ「これからの生き方 ~コロナ禍を経験して」
アンカーマン 林道隆氏
2023年7月20日(木) 刈谷市総合文化センター アイリス 小ホール
14:00~16:30 (13:30開場) 会費：600円(前売)、800円(当日)
主催：刈谷市仏教会 後援：杉浦仏壇店

①山門前の雨水枡は、地中に埋めてありますが、鐘楼から出る水と境内の水が集まる場所の枡から水が排水されないようになっていました。原因を調べたところ、大勢の人が上を歩いたことで、塩ビの配管の勾配が逆になって排水できなくなっていましたので、これを改修しました。

②境内の庫裏手前にある大きな集水枡の手前で大きな水たまりができているため、新たに塩ビ管を埋設して集水枡に雨水を落とし込むようにしました。



境内の参道を新設

境内の砂利に参道を新設

③境内の北側駐車場から上がった砂利に大きな水たまりができていたため、雨天でもクスのノキの周りを回って本堂に向かえるようにコンクリートの参道を造りました。これらの対策を、6月一杯の工期で完了しました。

6月度護学会物故者

千楽院釋光泉

6月2日寂谷 光明(72)

高畑組 森本とよ子様のお弟

彩美院釋尼妙恵

6月5日寂岡本恵美子(85)

市場上組 岡本勝己様の母

称光院釋文映

6月12日寂川上文彦(86)

今川西組 川上栄作様の父

3名の順慶寺護学会員の方が生前の役割を終えられ、浄土におかえりになりました。合掌



編集部短信

◆アフターコロナ体制で集会Ⅱ 5月の政府による規制緩和に従って、順慶寺の例会等の集會も規制をほぼ緩和した。具体的には、6月の真宗講座二十一組同朋講座、お楽しみ会などの集まりでは、本堂の人数制限を撤廃し、イスの距離を狭めた。その結果、本堂の収用人数は、以前の通り、本堂備品のイス数と同じ、百名可能までとなった。

◆泉田ふれあい朝市を順慶寺で初めて開催 7月23日、泉田ふれあい朝市を順慶寺境内で開催の予定。泉田地区では、毎月第四日曜に泉田八王子神社で、ふれあい朝市として、軽トラで持ち寄った作物や手作りの品物を百円程度で販売している。また、コーヒーなどの喫茶もある。八王子神社は泉田西部地区にあることから、今回初めて、東部地区に属する順慶寺で開催することとなった。

編集雑記

6月2日の大雨は、久しぶりの激しい雨でした。三河部をはじめ、多くの地域が被災されました。被災された皆さんには心よりお見舞い申し上げます。大雨当日、順慶寺境内では、あちこちで雨水が溢れていました。これは大変だと案じていましたら、総代長の池田重晴さんが長靴に傘を差して来られ、「今から井戸君工業さんが下見に来られるから」と言って、わざわざ大雨の時を選んで、雨水排水の現況検分を進めて下さいました。さすがは、総代長です。細やかに心くばりにこころより感謝しました。(住)

暑くなってきましたね。先日、寝起きの汗がびっしょりの状態でびっしょりになりました。寝ている時に熱中症になる場合もあるそうなので気をつけたいと思います。(若)



7月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	土	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他) 順慶寺子ども会(9:00、順慶寺)	
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		木-1
7	金		
8	土	助音講(16:00、順慶寺玄関)	
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		木-2
14	金	定例責役総代会(19:00、順慶寺玄関)	
15	土	同朋ゼミ(14:00、順慶寺玄関)	

16	日		
17	月		
18	火	真宗講座(19:00、順慶寺本堂)	
19	水		
20	木	刈谷市仏教文化講演会(14:00、刈谷市アイリスホール)	木-3
21	金		
22	土		
23	日	泉田ふれあい朝市(泉田地区主催、順慶寺境内)	
24	月	参門会(親睦ゴルフ)	
25	火		
26	水		
27	木		木-4
28	金	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	土		
30	日		
31	月		
8/1	火	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他)	

7月行事内容 詳細

定例責役総代会

7月14日(金)

午後7時

順慶寺玄関

順慶寺において半期に一度の責役総代会が開催されます。

今回の主な議題は、令和4年度順慶寺本会計報告、令和5年度上半期護善会会計報告などです。

※順慶寺の宗教法人会計は、本会計と別途会計に分かれています。そのうち、本会計は住職が、別途会計は護善会と墓地管理委員会が管理しています。

刈谷市仏教会・仏教文化講演会

7月20日(木)

午後2時

刈谷総合文化センター

東栄大学名誉教授 牧野篤氏
講師 豊原サチ子 豊原博 薄井秀夫氏

刈谷市仏教会では、二年に一度仏教文化講演会を開催しています。二年前は、コロナ禍で中止となったため、四年ぶりの実施となります。今回は、「これからの生き方〜コロナ禍を経験して」というテーマのもと、先生方に講演をしていただき、その後、パネルトークがあります。三頁ポスター参照。

お知らせ

●7月の寺カフェについて

7月1日に予定されている寺カフェでは、お楽しみ企画として「琴のしらべ」を三箏のお琴で演奏していただきます。順慶寺本堂で開催いたしますので、ご自由にご参加ください。

なお、当日、順慶寺子ども会も参加させていただきます。

●仏教講演会チケットについて

7月20日に予定されている刈谷市仏教講演会のチケットですが、

順慶寺に割当てられて前売りの枚数は、5枚となっています。この5枚に関しては、7月1日から順慶寺に申込をされた方の先着5名とさせていただきます。

その後、状況によって、別途チケットが確保できました場合には、7月18日の真宗講座当日に改めてお渡しいたします。なお、人数がオーバーした場合には、抽選とさせていただきます。悪しからずご了承ください。

じゅんこのときめき歳時記

スモモ

みなさん、梅雨真っ盛りですね。体調は大丈夫でしょうか。この時期にはカビが発生しやすいので、注意しましょう。

先日、スモモを頂きました。そのとき、スモモとプラムってどう違うの？ということが話題になりました。

聞くところによると、スモモもプラムも基本的には同じもので、ヨーロッパスモモをプラムとかプルーンと呼び、日本スモモを単にスモモと呼ぶそうです。プラムは、生の場合を言うことが多いようです。ドライフルーツやペーストにするとプルーンと呼ぶそうです。因みにスモモは、形の似たものに比

べて、酸味が多いことから、スモモと呼ばれるようになったとか。そう言えば、早口言葉で、「スモモも桃も桃のうち」というのがありましたが、それも意味があつたんですね。

李食む

午前の汗を流しをり

野沢節子

